

夏休みこども講座の取り組み

為石地区公民館

1 はじめに

児童数の減少や、コロナ禍での活動中止などにより、実施が難しくなってきた夏休みこども講座であるが、為石小学校や為石児童クラブとの連携により、多くの児童に参加してもらえたことを嬉しく感じた。

2 運営内容

講座名：海洋プラスチックでつくるランプシェード

日 時：8月1日（金）・8月8日（金）

9時30分から11時30分まで

場 所：為石地区公民館2階 会議室3

講 師：里見 はるか

参加者：8/1 18名、8/8 18名

内 容：①海洋ごみに関するお話

②ランプシェード作り

3 成果と課題

〈児童の感想〉

- ・ピンに紙粘土をつけたり、貝殻やシーグラスをつけるのが難しかった。
- ・難しかったけど楽しかった。完成したので嬉しかった。
- ・先生の仲間たちが、プラスチックとか拾っているなんていい人だなと思った。
- ・海のゴミを魚が食べて、その魚を自分たちが食べているのがびっくりした。
- ・ゴミの学習にもなったし、使えて、学校の宿題を作れたので嬉しかった。

小学生の純粋な反応や、豊かな感性と集中力に驚かされた。

講座に参加したことで、環境問題に関心を持ち、美しい地球を守るために、自分にできることはないか、考えるきっかけになってほしい。

小学生対象の講座は、学年による理解力や対応力に差があるため、伝える側の難しさもある。

募集定員や学年構成、講師のサポートなど検討したいと思う。

これからも、為石小学校や為石児童クラブと情報交換しながら、楽しく学ぶ夏休みこども講座を企画していきたい。

（文責 大久保 美智）